

メッセージ 4

キリストと彼の復活の力を知る

聖書：ピリピ3:10, 12-14. ヨハネ11:25. 使徒2:24.

Ⅱコリント1:8-9. 啓1:17後半-18. 2:8

I. パウロは、キリストを知ることを切望していました——ピリピ3:10:

- A. ピリピ人への手紙の中心的な事柄は、キリストを主観的に認識し経験することです——ピリピ2:2, 5. 3:7-10. 4:10, 13。
- B. ピリピ第3章8節のキリストを知る知識の卓越性を持つことは啓示によりますが、10節のキリストを知ることは経験によります。
- C. キリストを知る知識の卓越性は、わたしたちが実際化するキリストの卓越性です——8節。
- D. パウロはまずキリストの啓示を受けました。それから、パウロはキリストを経験することを追い求めました。すなわち、経験的な方法でキリストを知り享受することを追い求めました。
- E. ピリピ第3章10節の「知り」という言葉は、「経験する」と等しいです：
 - 1. キリストを知ることは、彼を経験すること、彼を享受すること、彼にあずかること、彼に分を持つことを意味します——9-10節。
 - 2. こういうわけで、キリストを知ることは、キリストを経験することによって彼を会得することです——8節。
- F. キリストを知ることは、ただ彼に関する知識を持つだけでなく、彼というパーソンを獲得することです——ピリピ3:8. Ⅱコリント2:10. 参照、コロサイ2:9, 16-17:
 - 1. 何かを獲得するためには代価を払う必要があります——ピリピ3:7-8。
 - 2. キリストを獲得するとは、代価を払って、キリストの計り知れない豊富を経験し、享受し、所有することです——エペソ3:8. 参照、啓3:18。
 - 3. クリスマン生活は、すべてを含むキリストを獲得する生活です——エペソ3:8:
 - a. パウロは極めて多くキリストを経験し、獲得していましたが、完全に経験した、あるいは極みまで獲得したとは考えませんでした——ピリピ3:12。
 - b. パウロはなおも目標に向かって前進していました。その目標とは、最も満ち満ちた程度にまでキリストを獲得することでした——12-14節。
 - 4. 最も満ち満ちた程度にまでキリストを獲得するために、パウロはユダヤ教における自分の経験を放棄しただけでなく、キリストに対する過去の経験にもとどまりませんでした——7-8, 13節:
 - a. わたしたちの過去の経験がどれほど真実であっても、それを忘れないでそこにとどまることは、さらにキリストを追い求めることを妨げます——13節. ヘブル6:1前半。
 - b. キリストの豊富は計り知れず、わたしたちが所有すべき彼の豊富の広大な領域があるので、パウロは体を伸ばして、この領域の極限に達しつつありまし

た——エペソ3:8、ピリピ3:13。

G. キリストを知ることは、キリストの中に見いだされることの結果です——9-10節：

1. パウロは、「キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義」によって、キリストを知りました——9節。
2. わたしたちは、自分自身の努力によって成し遂げた義によって、キリストを知ることはありません。わたしたちは、自分自身の努力によって行なえば行なうほど、ますますキリストを知らなくなります——9節前半。

II. パウロは、キリストの復活の力を知り経験することを切望しました——ピリピ3:10：

A. キリストの復活の力は、キリストを死人の中から復活させた、彼の復活の命です——エペソ1:19-20。

B. キリストご自身が復活です——ヨハネ11:25：

1. 「わたしは最初の者、また最後の者、また生きている者である。わたしは死んだが、見よ、永遠にわたって生きている。そして、死とハデス [陰府] のかぎを持っている」——啓1:17後半-18：
 - a. 墮落のゆえに、死が入って来ました。そして死は今や働いて、あらゆる人を集めてハデス [陰府] の中へともたらそうとしています。
 - b. 死とハデス [陰府] のかぎは、死んで復活させられた、わたしたちの救い主の御手の中にあります——18節。
 2. 「最初の者また最後の者、死んだが再び生きた者が、こう言われる」——啓2:8：
 - a. 「再び生きた」は復活を指しています。
 - b. 主は死の苦しみを受けましたが、再び生きました。彼は死の中へと入りましたが、死は彼を捕らえておくことはできませんでした。なぜなら、彼は復活であるからです——使徒2:24、ヨハネ11:25。
 - c. キリストはハデス [陰府] に行き、死を経過し、死に打ち勝ち、勝利のうちに死から出て来ました。これが復活です——参照、I ペテロ3:18-22。
 3. 復活は、人（わたしたちの主イエス）が、さまざまな障壁を突破したこと、すべての中で最大の障壁である死でさえも突破したことを意味します——使徒2:24
 4. エペソ1:19-20：
 - a. 主の復活は、天然の領域のすべての障壁を破りました。こういうわけで、イエスはもはや、空間と時間を含む、何によっても束縛されません——参照、ヨハネ7:6-8。
 - b. わたしたちの最大の制限は空間と時間ですが、これら二つのものは、復活したキリストを制限することはできません。
 - c. 死は最大の制限ですが、復活は死を征服しました。ですから、復活はすべての中で最大の力です——ピリピ3:10、エペソ1:19-20。
- C. 復活は、死に打ち勝つ命であって、死によって損害を受けることも、損傷を受けることもありません——ヨハネ11:25、啓1:17後半-18、2:8：

1. 死は、復活の命に対して無力であり、何も行なうことができません——使徒2:24。
2. 死は、別の形態の命にあらゆる種類の損害を与えることができますが、死によって傷つけられることのないただ一種類の命があります。これは復活の命です——ヨハネ11:25. ペリピ3:10 :
 - a. 復活は、死を経過して死によって捕らえられることのできない命です。
 - b. 聖書の完全な啓示によれば、神ご自身が復活の命です——ローマ4:17。
- D. その霊は、キリストの復活とその力との実際です——ローマ8:9-11. I コリント15:45後半. I ヨハネ5:6 :
 1. わたしたちは、キリストの復活の命を経験するために、キリストが復活の中で命を与える霊と成ったことを見る必要があります—— I コリント15:45後半。
 2. 復活は、最後のアダムであるキリストが命を与える霊と成った過程です。これが復活の最高の定義です。
 3. キリストの復活は、キリストのかたちが変わって、命を与える霊と成ったことであり、それはキリストが彼の信者たちの中へと入るためでした—— I コリント15:45後半. ヨハネ20:22。
- E. 復活の原則とは、天然の命が殺されて、神聖な命がその代わりに起き上がることです—— II コリント1:8-9 :
 1. 死を経過しても、なお残っているものが、復活です——啓2:8。
 2. 復活は、死から出て来て天然の領域を超越しているものです——使徒2:24。
 3. 復活が意味するのは、キリストの復活の命を持つわたしたちが、どのような出来事や環境によっても、抑圧されることがないということです—— II コリント1:8-9。
 4. 復活の中にいることが意味するのは、わたしたちの天然の命が十字架につけられるということであり、またわたしたちの存在のうちの神が創造された部分が復活の中で引き上げられて、復活の中でキリストと一になるということです——ローマ6:4-6。
 5. わたしたちは天然の命によって生きずに、内側の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます——ヨハネ6:57. ローマ8:11。